

(参考)

藤里地区活性化計画 改善計画書

平 2 3 年 9 月 2 8 日 作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
秋田県	藤里町	藤里地区	H20～22	H20
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
廃校・廃屋等改修交流施設	既存集会施設の簡易宿泊機能付加交流宿泊施設整備一式		藤里町	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備 考
交流人口の増加	2.0%	-11.0%	-550%	

2 目標が達成されなかった要因

都市農村間交流の拠点として、地域の集会所を有効活用して宿泊施設に改装し、地域振興に一体となってツーリズムに取り組んだ結果、この施設自体の宿泊実績は着実に増加しているものの、白神山地全体へ訪れる観光客が減少してきている中、藤里町も例外ではなく観光入込客数が減少し、目標が達成されなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	25年度
事業の推進体制	観光関係者、グリーン、エコ・ツーリズム実践者等
具体的取組方策	今まで取り組んでいる季節ごとのイベント、首都圏でのPR、観光写真コンクール等は引き続き継続し、テレビなどマスコミも有効活用し、さらに知名度が上がるよう積極的に町の魅力を発信していく。 また、平成23年度のJR東日本の青森デスティネーションキャンペーン、平成25年度の秋田デスティネーションキャンペーンの波及効果等による誘客を展開していく。 さらに、平成25年度は白神山地「世界自然遺産」登録20周年となるため、積極的な宣伝に努めていくとともに、これに併せて自然豊かな農山村の魅力や地元伝統食の味などを全国に発信し、観光客入込客数の増に繋げたい。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

本計画施設の整備効果は利用実績の推移等を見ても着実に発現されているものと判断できるが、事業活用活性化計画目標である町全体の交流人口の増加については、この度の東日本大震災の影響等もあり、平成25年度での目標達成は厳しいものと推察する。

このため、まずは、「清流荘」単体での利用者の増加を補助目標として定めるとともに、観光関係者やグリーン、エコ・ツーリズム実践者等による推進組織体制を早期に確立すべきと考える。また、目標達成に向けた方策に記載の秋田デスティネーションキャンペーンの効果等の恩恵を獲るためにも、地元推進体制の設置はもとより、秋田県やJR東日本等による大型観光キャンペーン推進組織の設立準備会議等に町としても積極的に関わり、密接な連携をとっていく必要がある。

平成25年度の活性化計画目標の達成に向けては、町等が独自に白神グリーン・ツーリズム体験ツアー等を企画するなど、季節折々でイベント等を実施が重要である。また、世界自然遺産である白神山地に最も近い癒やしの宿「清流荘」、ここでしか味わえない食文化などをアピールするなど、口コミ等による同施設の宿泊者の増加と近隣市町村と連携して新たな観光ルートの開発等に努める必要がある。

なお、平成22年7月に白神山地の麓、粕毛米田地区に開所した高級化粧品会社株式会社アルピオンの「白神研究所」との連携等による顧客様への情報提供など、長期的な視点で同社の世界的企業力等の活用についても検討すべきと考える。